

中国5県コロナ対応緊急支援助成（第2期）

公募結果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	社会福祉法人 正仁会
代表者名	二宮 正則
申請事業名 主題	公益事業としてのフードバンク事業のハード整備並びに生活困窮者や学生、こども食堂などへの食品提供の継続・拡大事業
申請事業名 副題	
エリア／テーマ	【広島県】実行団体のハード整備と組織基盤強化を通じた、必要とされている方への食支援事業
解決すべき社会課題	<ul style="list-style-type: none"> ① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援 ② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援 ③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援 ④ 働くことが困難な人への支援 ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援 ⑥ 地域の働く場づくりの支援 ⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
申請事業の概要	<p>現在以上に、多くの食料を保管し、より多くの生活困窮者に食料を分配するため</p> <ul style="list-style-type: none"> ①大型冷蔵庫及び冷凍庫の購入・入替等 <ul style="list-style-type: none"> ・現行の冷蔵庫及び冷凍庫の撤去・搬出を行い、それに伴う必要な建築工事を行う。 ・大型冷蔵庫及び冷凍庫の搬入・設置を行い、それに伴う必要な修復建築工事を行う。 ②大型倉庫の新設 <ul style="list-style-type: none"> ・法人の職員用駐車場に大型倉庫を設置し、常温保管可能な提供食料品と現行倉庫の収納品を新倉庫に移動する。なお、新倉庫は、使用が容易な棚付きとする。 ・現行倉庫に温度・湿度管理可能なエアコンを設置し、低温度を確保し食料品を収納する。米専用の保管庫を設置する。 ・夏場の遮熱目的に、天井や壁には断熱仕様（メーカーオプション仕様）の新倉庫を設置する。 ・床に、食料品移動中のリスク軽減（食料品を床に落としたなど）のためタ

	イルカーペットを敷く。 ③食料品等の搬送用トラックの購入
事業実施地域	広島県内
申請事業期間	(開始月) 2021年 6月～(完了月) 2021年 12月
申請助成額	10,075,500 円 【内訳】直接事業費 10,075,500 円、管理的経費 0 円

■ 審査コメント

- ✓ 長年フードバンク活動に着実に取り組んでおり、組織体制も合併により安定している。
- ✓ ハード整備の初期投資が助成対象経費のほとんどであり、リスクも少ない。
- ✓ 個人に対する直接的食糧支援の実績も着実に積んでいて、他のフードバンクとのネットワーク構築にも意欲的なのは評価できる。
- ✓ 活動実績から本事業の実現可能性は極めて高く特段の懸念はない。
- ✓ 組織統合も事業を安定させることが目的で今後も事業の継続性がある。
- ✓ 先進的でありながら地域に根差した地道な活動、自団体の活動状況の分析把握力など、申し分ない提案内容と感じる。
- ✓ フードバンクのネットワーク構築に期待。
- ✓ 日本のフードバンク最初期に設立された初めの 5 つくらいに入る団体。普通のフードバンクと違って、サロン中心で同時進行でフードバンクを行うユニークな活動。
- ✓ フードバンク事業は全国的に見ても厳しい運営状況にある。そこを社福と連携することで解決している事は素晴らしい。
- ✓ 申請書類の作成も含め、伝える力があると感じる。
- ✓ 実績あるフードバンクが本事業を通じてもっと伸びるのは素晴らしい。個人支援を始めるなど、さらに実績を高めている点も評価できる。
- ✓ 他団体からも視察に訪れるなど活動は素晴らしい。次の団体を育てる観点からも、さらに頑張ってもらいたい。
- ✓ 横展開するモデルになるような素晴らしい実績。フードバンクを一步先に進める活動と評価できる。
- ✓ 申請書について、定性的、定量的なデータを上手く活用しており、見本のような申請書。これを創れるのは素晴らしい。
- ✓ 資金的に脆弱さのあるフードバンク分野において、こういった形で補ってさらに広げていく。モデルケースとしても期待する。
- ✓ 広島と山口の募集テーマがフードバンクなので、ぜひネットワーク構築にも尽力してほしい。
- ✓ モデル的と皆さん言っている。情報発信にもっと力を入れていただけると嬉しい。
- ✓ 個人支援もやっているのだから、個人厳しい状況の情報発信していただけたらと思う。
- ✓ 代表（フードバンク部門主担当者）の次の世代など、事業継承について心配な点がある。組織の力はあると思うので、本事業をきっかけに、新しいリーダーが生まれるチャンスともとらえて将来を見据えた活動を継続してほしい。